
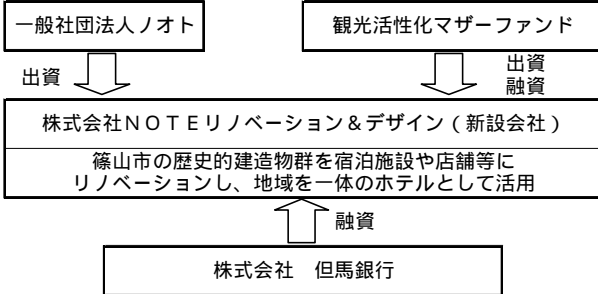


25. 古民家の宿泊施設・店舗等への活用を通じた観光活性化への取り組み
(兵庫県篠山市)

タイトル	篠山市における古民家再生を通じた観光活性化への取り組み	
銀行名	但馬銀行	
取組みに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)ノオトは兵庫県篠山市内において、古民家や歴史的建築物を宿泊施設や店舗として再生・活用してきた事業者である。 ・同社と連携し、兵庫県篠山市の古民家等をリノベーションし、特別区域(関西圏国家戦略特別区域)での規制改革を利用した宿泊施設等として利活用することを計画した。 	<p>【篠山城下町ホテル NIPPONIA】</p> 
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光活性化マザーファンドとの協調投融資 古民家の改修資金等について、(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)のファンド運営子会社であるREVICキャピタル(株)等が設立した観光活性化マザーファンドおよび当行が協調して投融資を実行し、事業の実現に取組んだ。 <p>【スキーム図】</p>  <pre> graph TD A[株式会社 但馬銀行] -- 融資 --> B[株式会社NOTEリノベーション&デザイン(新設会社)] C[一般社団法人ノオト] -- 出資 --> B D[観光活性化マザーファンド] -- 出資 融資 --> B B --- E[篠山市の歴史的建造物群を宿泊施設や店舗等にリノベーションし、地域を一体のホテルとして活用] </pre>	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊客やレストラン利用者の安定的な集客が課題であり、地元自治体や他の観光関連事業者と連携した情報発信や観光ルートの創出が必要である。 	
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光活性化マザーファンドと協調した融資の取扱いについて」(平成27年4月8日) http://www.tajimabank.co.jp/news/release/kanko_kasseika_20150408.pdf 	